

	ご意見	区役所の対応
1	・情報が多すぎ、具体的にどんな内容があるのかが見づらい。一方それに関しては、見たい情報だけ抜粋してみればいいので、多くの情報が入っていても良いのでは、との意見も。	・広報紙への記事掲載依頼は、毎月現行の紙面では補いきれないほど来ているのが現状です。少しでも多く載せたい、という発行側の視点が強くなってしまいう傾向がありますが、今後とも、「見る側」の視点により想いを持ちながら見やすい紙面づくりに取り組んでまいります。
2	・広報紙の表紙のデザインについて、西区を前面に出したデザイン（例えば西区の建物等）を持ってくるのが良いのでは。	・毎月の広報紙における表紙および裏表紙は、「特集」として区役所として特に区民にお知らせしたい内容を掲載しております。特集に「西区らしさ」を出せるよう、令和7年度の広報紙計画を練ってまいります。
3	・どこに置いてあるかわからない。手に入る機会を増やすべき。 ・置いている場所があまり行かない所、行く機会が少ない所ではないか。スーパー等生活に密着した場所に配置をするともっと多くの人に見てもらえるのではないか。	・区内のメトロ駅、郵便局、主な病院やスーパー、中央図書館や区民センターといった公共施設に配架しています。加えて、広報サポーターとしてご協力いただいている飲食店や依頼のあった120あまりのマンションにも配架しております。 ・区役所SNSなどを活用して、どこで入手できるかについて周知を強化していくとともに、SNSでもデジタル版の広報紙をご覧いただけることを周知してまいります。
4	・内容が行政の情報だけ。面白いお店の情報やイベント入場券のプレゼントができれば。	・行政として広報紙を発行している目的に照らし、行政情報の発信が中心になることはご理解をいただきたいと存じますが、より見ていただける紙面づくりは重要と考えます。「面白さ」も念頭に紙面づくりに取り組んでまいります。
5	・広報紙の入手場所としてマンションのエントランスや幼稚園、小児科医院が多かったが、最近そういう場所で広報紙が余っていることが多い。	・広報紙は、比較的ホームページ等をご覧になる機会の少ない高齢の方からの需要が高いため、これまで配架してこなかった施設等にも配架の協力を依頼して効率よく情報が発信できるように改善してまいります。
6	・広報紙の内容をより詳しく知るための二次元コードがある方が良い。	・区民アンケートの結果も踏まえ、詳細については二次元コードを通じて区役所HPにつながるようにしております。
7	・二次元コードのアクセス数を調べることができるとより良い。（どのくらい広報紙から情報を得ているのかということがデジタルを通してわかることで、デジタル媒体がどのくらい使われているのが明確になる。）	・広報紙に記載の二次元コードを経てHPにアクセスした数の把握はシステム上できません。一方HP閲覧者の総数は確認できますので、総数を増やすよう取り組んでまいります。
8	・紙媒体で目に入るといろいろな情報が目に入るので、オンライン上で見てもらうよりもいろんな情報を得てもらえるのではないか。	・広報紙の一覧性と、オンライン媒体の即時性などそれぞれの特性が活かせるよう、ターゲット層なども考慮しながら発信内容を考えてまいります。

＜その他意見＞

- ・子育て層は子どもに役立つようなイベントを中心に見る方が多い。イベント情報自体が興味をもつ内容として、全面的に注目されている。
- ・表紙の内容が背表紙に書かれているレイアウトに変わっている。その点はすごく良い。

区政会議委員意見と対応【HP】

	ご意見	区役所の対応
1	・デザインの良し悪しではなく、情報にどれだけのとりやすいかが重要。 ・情報が混在していてわかりにくい。「わかりやすい見た目」が必要。 ・知りたい情報を検索できる画面があるが、情報にたどり着くためのキーワードを考えるのが難しく、目的の情報にたどりつけない。	・様々な方々から、情報にたどりつきにくいとのご指摘を頂戴しており、改良の必要性は認識しております。 ・大阪市全体の方針として、令和9年度にHPの全面改編を行うこととしておりますが、それまでの間についてもより見やすいHPとなるよう、他区のHP等を参考に改良してまいります。 ・具体的には、トップページの記事量を絞り込み、情報の並べ方なども検討のうえ、年度末を目途に見やすくなるように改善してまいります。また、各ページについても随時情報を整理します。
2	・どの層に伝えたいのか、どういう人にその情報を知ってもらいたいのが重要。	・区民がそれぞれのニーズに応じて様々な媒体で区政情報にアクセスいただけるよう、区民アンケート等も活用しながらニーズをさらに分析・把握してまいります。
3	・もっと先の情報、2, 3か月、またはそれ以上先の情報があれば。	・先の情報についてはその確度も勘案しながら、なるべく掲載できるよう努めてまいります。
4	・区政情報だけでなく、もっと面白い情報があれば。	・区役所からの情報発信は、基本的には区政にかかわるものとならざるを得ません。 ・一方現在地域作成のHPとのリンクを進めており、様々な地域活動についてもご覧いただけるようになっております。

<その他意見>

- ・大阪市のHPは見るが、西区のHPを見ている方がほとんどいない。
- ・デザインがおとなしめな印象。

区政会議委員意見と対応【SNS】

	ご意見	区役所の対応
1	・広報紙をラインを通して読めることを、転入の手続き、乳幼児の検診の際にPRし、登録を促す必要がある。	・簡単な案内を作成し、窓口業務を担当する部署の協力のもと各手続きの際に周知していきます。また、イベントなど多くの方が集まる場を活用してSNS等への登録を呼びかける取組を強化しました。
2	・Youtubeの動画について、ターゲットを絞ることでより見てもらうことができるのではないか。特に若者はターゲットとして有望。そのため、ショート動画で飲食店情報はじめ、こども、若い人が見るような情報を主に。	・これまで、区長の街歩き、行政手続きのご案内、防災訓練など、区民に広くお知らせしたいコンテンツに加え、区内専門学校OCAの学生発信の動画など若い方をターゲットに据えた発信をしております。 ・今後は、より視聴していただきやすいショート動画を中心に発信していきます。 ・Instagramにおいて、各地域での盆踊りなど楽しい内容の動画を、より見ていただきやすいようにショート動画で公開しました。これからもショート動画を中心に情報発信していきます。
3	・知っている人が出ているのがいい。西区に住んでいる有名人の方であったり、子どもたちとか、校長先生とか、そういうみんなが「この人知っている」という人。	・動画に拘わらず広報紙も含め、身近な区民にスポットを当てることを意識してまいります。
4	・地元のLINEグループ（ママさんグループなど）で、情報共有が盛んに行われている。そういう地域のインフルエンサーと区役所が連絡を取って情報の提供や連携をしていければ良いのでは。 ・Instagramの活用について、地域のお店等に西区のアカウントをタグ付けしてもらうことで、より多くの人の目につくのではないかと。	・区の魅力発信等について協力していただける方の発掘等を狙い、「#（ハッシュタグ）」を付けて投稿してもらう新たな取組を始めました。 ・広報紙やHPはもちろん、様々なイベントでも周知を図ってまいります。
5	・二次元コードを載せたポスターを区役所の広報板に貼るのは有効では。	・広報板の空き状況も確認しながら、二次元コードの利用促進のための案内等貼付して参ります。
6	・動画でしか伝わらない、動画の方がわかりやすいような情報であれば、Youtubeの動画があるとわかりやすい。☒	・動画配信に力を入れております。既に多くの動画を配信しておりますが、今後も継続して配信していきます。
7	・ツイッターやInstagramは操作や設定が難しいため登録が少なくなっているのでは。	・西区役所として、区役所や区民センター、老人福祉センター、そして地域の会館も会場として、各所でスマホ教室を実施しております。 ・スマホ教室のプログラムにも、区役所のSNSの登録を組み込んでその普及を図っております。

<その他意見>

- ・LINEの使用頻度が高い。
- ・情報を主に広報紙から得ている。わざわざSNSを使おうとは思わない。
- ・今の時代はピンポイントで欲しい情報を得ていくことが主流。よって、区の広報のInstagramのアカウントをずっとフォローし続けてもらうのはちょっと難しい。